

参加チーム各位

日本マスターズ水泳短水路大会
石川（金沢）会場事務局

2016年度日本マスターズ水泳短水路大会石川（金沢）会場のご案内（第2要項）

来る4月24日（日）に金沢市営総合プール（25m×5レーン）にて開催する「2016年度日本マスターズ水泳短水路大会石川（金沢）会場」に申込みをいただき、ありがとうございました。291名の参加者となり、円滑に大会を運営していきたいと考えております。

当日のタイムスケジュール、連絡事項などをご案内しますので、各チームより参加選手全員にいきわたるようお願いいたします。コピーなどを参加選手にお渡しいただければ幸いです。大会運営に支障をきたさないよう参加選手には競技の運営内容や競技規則を熟知の上、ご参加いただきますようご配慮ください。

参加選手全員にIDカードを発行しますので、必ずお渡しくください。IDカードは入場時、招集時、入賞メダル受け取り時などに必要となりますので、大会中は選手自身で携行してください。IDカードには、チーム名、選手名、年齢区分、出場種目、組及びレーンが印字されておりますので、ご確認の上、間違いがあった場合は至急ご連絡ください。

マスターズスイマーとして、一人一人がマナーを守るよう心がけ、参加者全員が快適に水泳を楽しんでいただけるよう、参加チームのご理解とご協力をお願いします。

【大会日程】平成28年4月24日（日）

・開 場 8：30

入場の際、IDカードを提示してください。チーム責任者の方は受付票で受付してください。

・ウォーミングアップ（メインプール使用） 8：30～9：30

メインプール（第7レーン）と小プール（15m×9m・水深60～80cm）は、終日使用可能です。

・チームリーダーミーティング 9：00

招集所にて行います。必ずチームの代表者1名が出席してください。

・開会式 9：45

全員、プールサイドに整列してください。

・競技開始 10：00

・競技終了 15：40（予定）

・競技予定時間（別紙参照）

主催者・主管からの連絡事項

■（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則（抜粋）

（1） 出発について（背泳ぎを除く）

- a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。（MSW4.1）
- b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。（MSW4.1）
- c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、一方の手でスターティンググリップを持ち両足を壁につける。（MSW4.1）

（2） 背泳ぎについて

- a. 競技中は、泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、およびスタート後、折り返し後の壁から15m以内の距離では、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。（MSW6.4）
- b. 折り返しの動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は連続動作として速やかに行う片腕のかきあるいは同時の両腕のかきを折り返しの初期動作として使用することができる。（MSW6.5）

（3） 平泳ぎについて

- a. スタートおよび折り返し後の一かき目は、完全に脚のところまで持って行くことができる。その間競技者は水没状態であってもよい。スタートおよび折り返し後の最初の平泳ぎの足の蹴りの前にバタフライキックが1回許される。（MSW7.1）
- b. 折り返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折り返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りにつながらない腕のかきだけになってもよい。（MSW7.6）

（4） バタフライについて

- a. 全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。（MSW8.3）
- b. 折り返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。（MSW8.4）
- c. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回のキックと一かきが許される。スタートおよび折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに頭は水面上に出ていなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールタッチまで体は水面上に出ていなければならない。（MSW8.5）

（5） 招集について

競技者は、競技会の主管団体が公表した招集の要領に従い、出場前に出場の確認または点呼を受けなければならない。また、公表された組・レーンで出場しなければならない。（MSW10.4）

（6） 競技終了後の退水について

泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示させるまでは、自レーンの中にとどまって

もよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は失格となる。また、その他妨害行為をした場合も失格となる（MSW10.9）

(7) リレー競技の第1泳者の記録について

4×25mのリレー競技を除き、リレーの第1泳者の記録は新記録に申請することができる。（MSW13.5）

(8) 水着の規定について

競技会で着用できる水着は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。

■競技進行上の注意

1. 競技方法について

(1) 2016年（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り行います。

(2) 競技は、すべて男女別、年齢区分別のタイムレース決勝とします。

(3) 年齢は、暦年齢（2016年12月31日現在の満年齢）とします。

組分けについて、25m・50m・100m種目競技はエントリーに従い、男女別・年齢区分別に組分けを行い、高年齢から低年齢へ遅い組から速い組への順で行います。ただし、競技進行上の理由により、リレーを除く200m種目は無差別で遅い組から速い組への順で行います。

(4) チーム受付は、各チームの代表者が行ってください。その際、同封の「チーム受付票」を受付へ提出してください。プログラム（申込者のみ）・公認記録証・参加章をまとめてお渡しします。

(5) リレーについて

①リレーオーダーの変更は、所定の用紙に必要事項を全て記入のうえ（プログラムNo・組・レーンも記入）変更締切時間までに、インフォメーションデスクへ提出してください。変更のない場合は、提出の必要はありません。

《リレーオーダー変更締切時間》

男子・女子	4× 25mメドレーリレー	9：30締切
混合	4× 50mメドレーリレー	10：00締切
男子・女子	4×200mフリーリレー	10：00締切
混合	4× 50mフリーリレー	12：00締切
男子・女子	4× 25mフリーリレー	13：00締切

②変更は1度のみとなり、年齢区分の変更はできません。

③同一リレー種目には、年齢区分にかかわらず1人1回しか出場できません。

④リレー種目の招集は、4名が揃わないと招集受付できません。

⑤リレーの第2泳者以降が水中からのスタートを希望するチームは、必ず招集所で申し出が必要です。許可なく水中からスタートするためにプールに入った場合、失格になります。なお、世界記録に挑戦するリレーチームはFINAのルールが適用されるため、第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録は認められません。

2. チームリーダーミーティング

4月24日（日） 9：00 から 招集所にて行います。

競技上の注意事項や規則改定について連絡します。必ずチームの代表者1名が出席してください。

3. 招集

- (1) 招集では、招集員に組・レーン・名前を自己申告し招集受付をしてください。この際に選手確認のため、IDカード（誓約書欄に必ず署名がない場合は無効）を提示してください。
- (2) 招集所へは、ご自分の出場する種目、組の 6 レース前までに（25m種目は、10レース前までに）お越しください。競技の進行をご確認のうえ、招集遅れのないように注意してください。
- (3) 招集所では「第〇組」と組が呼ばれます。ご自分の出場する組であれば招集員に「組・レーン・名前」を自己申告し、招集受付を済ませ、指示に従い並んでください。ご自分の組とレーンは、忘れないように、また、間違わないように申告してください。
- (4) リレー種目は、出場者4名揃わないと招集受付できません。4名揃ったら、泳ぐ順に各人が自己申告し、招集受付をしてください。
- (5) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。

4. スタートについて

- (1) スタート前のメインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そのバケツで行ってください。
- (2) 前の組がスタートしたらスタート台の後ろに立ち、自分のレーンを確認してください。組・レーンを間違えると失格となります。
- (3) 公式スタート練習は、9：00～9：30に行います。公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。
- (4) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧めします。

5. プールの上がり方

- (1) 個人種目の場合、ゴールタッチした選手は、横からプールサイドへ退水してください。（自分のレーンからも可能）また、競技役員の指示があった場合は指示に従い、他の選手の妨げにならないように注意してプールから上がってください。
- (2) 25m種目は、次の泳者がゴールタッチするまでに、速やかに上がってください。
- (3) リレー種目はゴールタッチした選手は競技役員の指示に従い、他の選手の妨げにならないよう、またタッチ板に触れないように注意してプールから上がってください。25m以外の種目は、ゴールタッチした選手は、レーンロープにつかまり次の組がスタートした後にプールから上がってください。

6. 申告が必要な方

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は『出場申告用紙』にて出場種目開始予定時間1時間前までにインフォメーションデスクへ申告を行ってください。

①世界記録に挑戦する方

世界記録に挑戦される方は、【7. 世界記録申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について】を確認してください。『出場申告用紙』は不要です。

②テープ等をされる方

本来テープ等は認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。

実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は申告を行っても許可できない場合がありますので注意してください。

③障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性がある方

エントリー時に申告している方は、再度申告の必要はありません。

④出場に介助が必要な方

出場に介助が必要な方は、チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできませんが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は役員の指示を優先し介助してください。

⑤リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中スタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。

7. 世界記録申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について

世界記録の達成が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入のうえ、インフォメーションデスクへ申告してください。国際水泳連盟（F I N A）が認定している世界記録を突破した場合、その記録をF I N Aへ申請します。申請の際、計時員3名の計測が必要なため、インフォメーションデスクへの申告をもとに計時員3名を配置します。必ず申告してください。また世界記録を達成された場合、泳者の生年月日を照明する「パスポートのコピーまたは、住民票のコピー（3ヶ月以内のもの）」が必要となりますので準備してください。

世界記録のF I N Aへの申請にはF I N A承認水着の着用確認が必要です。世界記録を出す可能性がある選手はF I N A承認マーク付き水着の着用をお願いします。競技終了後、水着着用の写真を撮影します。また、世界記録申請用紙記入の際、水着のメーカーおよび承認番号を記入してください。

日本記録に関しては、レース前およびレース終了後F I N A承認水着の確認をします。承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。

※ 2016年4月より、リレー種目（4×25mは除く）の第1泳者も新記録の申請が可能になりました。世界記録に挑戦される方は、必ず申告してください。

8. 表彰について

- (1) 出場選手全員に参加章および（一社）日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与します。
- (2) 個人種目、リレー種目とも各会場の男女別・種目別・年齢区分別の各上位3位までメダルを授与します。ランキング発表後入賞者は、メダル受渡所にて各自メダルを受け取ってください。その際、IDカードまたはマスターズ登録カードを提示してください。
- (3) マスターズ日本記録を突破した選手に日本新記録樹立証を授与します。
- (4) マスターズ世界記録を突破した選手に世界記録突破証を授与します。
- (5) チーム代表者の方が、出場者のメダルを代わりに受け取ることはできません。

9. 異議申し立て

競技開始前に判明した異議は、そのレースの出発の合図の前までに、審判長に文章で提出してください。競技の失格内容や状況等に異議がある時は、そのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料5,000円を添えてインフォメーションデスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で検討し裁定します。な

お、抗議の申請はチームの責任者に限られます。(一般選手からの抗議の申請は受け付けません。)抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合、抗議料は返金しません。その他、違反内容の問合せについては、規定用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクに申し出てください。

10. 健康管理

- (1) 参加者の健康管理は本人の責任とし、各自で十分留意してください。
- (2) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。
 - a. 医師の健康診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
 - b. 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。
 - c. 会場における事故等については、すべて参加者側において処置してください。
(応急処置は行います)
 - d. 「マスターズ水泳キーワード9」をよく理解し、参加してください。
- (3) 大会期間中、医師・看護師により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

11. 貴重品の管理

貴重品は、個人またはチームで管理してください。選手控え室・観覧席・プールサイドに小銭入れ・カードケース・携帯電話を入れた袋を放置したままウォーミングアップを行い、その間に盗難に遭うケースがよくあります。仲間同士で管理しあうようお願いします。

12. IDカードについて

- (1) 2次要項同封のIDカードの誓約書欄に必ず署名をしてください。署名がない場合は招集が受けられません。また、裏面の大会当日緊急時の連絡先の記入も忘れずをお願いします。
- (2) 大会当日IDカードを紛失および忘れた場合は、会場のインフォメーションデスクにて再発行を行ってください。なお、再発行料として500円が必要です。

13. 会場内での撮影(カメラ・ビデオ・携帯電話)について

撮影許可なしでカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をすることはできません。選手・応援者の方で、カメラ・ビデオ・携帯電話での撮影を希望される方は、インフォメーションデスクにて撮影許可シール(200円)を購入し、撮影の際は必ず見える場所に貼付してください。許可シールの貼付なしにカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をしている不審者を見かけた場合は、大会本部へ連絡してください。

14. 施設利用の注意事項

- (1) 更衣室のロッカーは自由にお使いください。ただし、鍵を紛失しますと、取替料金として7,000円がかかります。
- (2) 貴重品は各自またはチームで保管してください。盗難等があっても一切責任は負えません。
- (3) ごみは各チームで持ち帰ってください。必ずごみ袋を持参してください。
- (4) 館内は土足禁止です。履物は各自で保管してください。
- (5) 館内は全館禁煙です。
- (6) 駐車場は無料です。別紙函面Aに駐車してください。駐車台数に限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越しください。駐車場の開門は午前7時30分です。

(7) 荷物は会場に置いて帰らないようにお願いします。置いてある荷物は終了後、撤去します。

15. 個人情報並びに肖像、音楽著作権の取り扱いについて

(一社)日本マスターズ水泳協会(以下「本協会」)の主催する公式競技会および本協会が公認する競技会の参加にあたり、本協会競技者登録・競技会参加等を通じて取得する個人情報および肖像の取り扱いについては以下のとおりです。

1) 個人情報

- ・プログラムやランキング作成を含む競技会運営に使用します。
- ・競技結果としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。

2) 肖像

- ・大会報告としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。
- ・以降マスターズ水泳の普及活動のために使用します。
- ・大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属します。

3) 音楽著作権

- ・競技会において、競技者や関係者が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いいたします。また、会場内BGMをそのまま使用して公開すると著作権の侵害となりますのでご注意ください。

なお、撮影許可シールは撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

16. 大会当日緊急時の連絡先について

申込時およびIDカードに記入の大会当日緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万が一の際に使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。

※緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号のことです。

(1) 責任者が会場へ同行される場合

出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。

(2) 責任者が会場へ同行しない場合

大会当日、緊急時の連絡先についての問合せをした際に伝えられるよう準備してください。

17. その他

- (1) 選手席はプール横の前室、プールサイド、2階観覧席です。譲り合いをお願いします。
- (2) 棄権者はチームでまとめて棄権申し出用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクに提出してください。
- (3) 大会当日、天変地異や天候条件等によりやむを得ず大会が中止となった場合は、「参加章(バッジ)」「プログラム(申込分)」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。

※不明な点がございましたら、小坂(09096899495)、山下(09046873533)までご連絡ください。